

# タラパカ グラン・レゼルバ レッド・ラベル カベルネ・ソーヴィニヨン (2022)

9321704

タラパカ

チリ



## 仕様

地域：チリ / マイボ・ヴァレー

スタイル：赤ワイン

葡萄品種：カベルネ・ソーヴィニヨン シラー

テイスト：辛口

アルコール度数：14.2%

サーブ温度：17℃から18℃

容量：750ml

## 説明

**テイスティングノート** 深く濃いルビー色。ノーズは力強く、まっすぐでフルーティーさを示し、黒胡椒、クローブ、ローリエなどのマイボ特有の凝縮したスパイスを伴う。プラムやカシスのような黒果実も加わり、レッドチェリーがフレッシュさを与えている。ジューシーなミディアムボディの味わいは、まろやかで熟した滑らかなタンニンを持ち、心地よくエレガントな後味が長く続く。

**合う料理** 赤身肉、きのこのリゾット、チーズ

**葡萄品種** 95%カベルネ・ソーヴィニヨン、5%シラー

**認証** チリ サステナブルWOC認証

## 畑 / 醸造方法

**葡萄畑の位置** マイボ・ヴァレー

**気候** 夏と冬の季節がはっきりしている温帯地中海性気候。畑は午後に吹き込む強く涼しい風の影響を大きく受ける。日中の温度は高く、午後には涼しい風が吹き、高温を和らげるため昼夜の寒暖差は20℃程。こうした条件が、熟した果実のアロマと複雑な含みを持つワインを生み出している。

**地質** ピエモンテ特有の土壌。花崗岩を起源とし、ロームから砂質のテクスチャーを持ち、沖積土壌で形成されており、ワインに骨格とミディアムなボディを与える。浸食が遅いため、土壌はミネラルに富んでいる。ワイナリーの丘陵地に沿って位置し、傾斜は3〜20度。角張った石や粗い砂利と細かい砂利を豊富に含む土壌は、葡萄樹の根を自由に伸ばし、ミディアムボディできめ細かく、しっかりとしたタンニンを持ち、余韻の長い逸品を造る。

**収穫** 手摘みと機械

**醸造** 3月の最後の2週間に収穫し、選果と除梗後区画ごとに醸造を行う。凝縮したアロマと風味を抽出するため、10-12℃で3-4日間マセラシオンする。アルコール発酵を25-26℃で7-8日間行い、ポリフェノールの抽出に重要なこの期間はポンピングオーバーを1日3回実施。そして色合いとタンニンを最大限に抽出するために、発酵後のマセラシオンを10日間行う。80%をフレンチオークの古樽に澱引きし、マロラクティック発酵を行い、その後12ヵ月熟成。残りの20%はステンレスタンクで熟成し、より果実味を表現している。

**熟成** フレンチオークの古樽（225L）で12ヵ月熟成

**酸度** 5.40g/L

**PH** 3.60

**残糖度** 3.71g/L

## 受賞歴

**サクラアワード2025** ゴールド！

**サクラアワード2024** ゴールド&すき焼きに合うワイン選出！

**グローバル・カベルネ・ソーヴィニヨン・マスターズ2024** シルバー！